



JOC オリンピック教室の開催について

千葉県と公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）は、オリンピック・ムーブメントの推進やスポーツ振興等で積極的に連携・協力することを目的に、平成28年2月にパートナー都市協定を締結しました。

この協定に基づく連携事業として、1996年アトランタ大会出場の千葉真子^{ちばまきこ}氏（陸上：長距離）、2008年北京大会出場の坪井保奈美^{つばいほなみ}氏（新体操）を講師としてお招きし、JOC オリンピック教室を開催します。

- 1 期日 令和元年5月8日（水）
- 2 会場 我孫子市立湖北台中学校（我孫子市湖北台6-9-1）
- 3 対象 2年生（3学級）
- 4 主催 公益財団法人日本オリンピック委員会
- 5 後援 スポーツ庁
- 6 協力 公益財団法人 JKA、千葉県、千葉県教育委員会、我孫子市教育委員会
- 7 内容 1学級ごと 連続2コマの授業（運動50分+座学50分）
運動：運動が苦手な生徒も参加できるように工夫された内容
（オリンピックの専門競技の技術指導ではない）
座学：オリンピックの経験等を通して、国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、生徒自身が自分のこととして捉え、今後に活かせるような学習内容

8 講師・時間割 (*太字は取材可能)

	1時限 8:40 ～ 「運動」	2時限 9:40 ～ 「座学」	3時限 10:40 ～ 「運動」	4時限 11:40 ～ 「座学」	5時限 13:30 ～ 「運動」	6時限 14:30 ～ 「座学」
5月8日 (水)	坪井 保菜美 氏 (新体操) 2年1組		千葉 真子 氏 (陸上) 2年2組		千葉 真子 氏 (陸上) 2年3組	

取材について

- ・取材を希望の方は、取材申込書に必要事項を記入し、我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課へ5月7日(火)正午までにファックスにてお申し込みください。
- ・取材に当たっては、別紙「取材上の留意事項」を御参照ください。



9 問い合わせ先

(取材関係)

我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課 TEL 04-7185-1604

(オリンピック教室)

千葉県教育庁教育振興部体育課 学校体育班 TEL 043-223-4108

(JOCパートナー都市協定)

千葉県環境生活部オリンピック・パラリンピック推進局
事前キャンプ・大会競技支援課 TEL 043-223-3482

【問い合わせ】

我孫子市生涯学習部文化・スポーツ課
担当 四家 横田

☎ 04-7185-1604

04-7185-1111 (内線70-852)

北京大会
団体総合 10位



つばい ほなみ
坪井 保菜美 先生

【体操／新体操】

- 生年月日 1989年4月5日
- 出身地 岐阜県岐阜市
- 出身校 岐阜大学教育学部附属中学校－
千葉県立千葉大宮高等学校－早稲田大学

両親の勧めで5歳から地元岐阜県内の新体操スクールに通い始める。小学6年時に全日本新体操チャイルド選手権5・6年生の部で3位入賞したことをきっかけに、より美しい演技を迫及するため本格的に競技に取り組む。中学2年時にジュニア日本代表としてオーストラリアン・ユース・オリンピックフェスティバルに出場し、国別対抗優勝に貢献。高校1年生まで個人種目を中心に活躍したが、2006年高校2年時に日本ナショナル選抜団体チームに選出され、地元岐阜県を離れ、千葉県に練習拠点を移す。同年バルナ新体操国際競技会に出場し、団体総合3位入賞、2007年世界新体操選手権大会で団体総合7位入賞する等日本代表チーム(フェアリージャパン)の中心選手として活躍。2008年大学1年時に北京大会に出場し、表現力の高さを活かした演技を披露。2009年世界新体操選手権大会団体種目別(ロープ2人+リボン3人)では4位入賞の成績を収め、大会終了後に現役引退を表明。現在はヨガインストラクターの資格を取得し講師を務める傍ら、選手経験を活かし新体操競技の指導者として後進の育成と競技の普及に尽力している。

主な成績等

2001年	全日本新体操チャイルド選手権 5・6年生の部	個人	3位
2002年	全日本新体操クラブ選手権大会 2部リーグJJJ	クラブ対抗	優勝
	全日本新体操ジュニア選手権大会	個人総合	11位
2003年	オーストラリアン・ユース・オリンピックフェスティバル	国別対抗	優勝
		個人総合	6位
		ジュニア個人総合	5位
2006年	全日本新体操クラブ選手権 1部リーグ	団体総合	3位
2007年	バルナ新体操国際競技会	団体総合	7位
2008年	世界新体操選手権大会	団体総合	3位
	ブルガリア新体操国際競技会	団体総合	10位
2009年	北京大会	団体総合	8位
	ポルチマン新体操国際競技会	団体種目別 ロープ+リボン	優勝
		団体総合	8位
		団体種目別 ロープ+リボン	4位
	世界新体操選手権大会		



ちば まさこ
千葉 真子 先生

アトランタ大会
10000m 5位

【陸上競技】

- 生年月日 1976年7月18日
- 出身地 京都府宇治市
- 出身校 宇治市立東宇治中学校 - 立命館宇治高等学校

中学校ではテニス部に所属し、中学3年時の部活動引退後に駅伝大会に出場したことをきっかけに陸上競技を始め、宇治高等学校(現：立命館宇治高等学校)進学後、本格的に競技に取り組む。高校2年時より2年連続で全国高等学校駅伝競走大会に出場し、2年時には2区を走り17人抜きを達成する等活躍。1996年に出場した唐津10マイルロードレース大会では10km(女子単独)の日本記録を更新して優勝、現在もこの記録は破られていない(2019年4月1日現在)。同年兵庫リレーカーニバル10000mで日本記録を樹立して優勝を飾り、続く日本陸上競技選手権大会10000mでは自己ベストを更新して3位入賞し、同種目でアトランタ大会に出場、5位入賞を果たす。1997年世界陸上競技選手権大会では10000mで3位入賞し、翌年よりマラソンへ転向。2001年北海道マラソンで初優勝を飾り、2003年大阪国際女子マラソンでは2位入賞、同年世界陸上競技選手権大会ではマラソンで3位入賞。2004年、2005年と北海道マラソン2連覇を達成する等、数々の国内・国際大会で好成績を収め、2006年北海道マラソンを最後に現役引退を表明。現在はスポーツコメンテーターや解説者としてメディア活動を行う傍ら、全国のマラソン大会にゲストランナーとして出場する他、ランニングクラブを立ち上げ、一般ランナーの指導を行う等、競技の普及活動に積極的に取り組んでいる。

主な成績等

1996年	アトランタ大会	10000m	5位
1997年	東京シティハーフマラソン		優勝
	世界陸上競技選手権大会	10000m	3位
2001年	北海道マラソン		優勝
2002年	ロッテルダムマラソン		2位
2003年	大阪国際女子マラソン		2位
	世界陸上競技選手権大会	マラソン	3位
2004年	大阪国際女子マラソン		2位
	北海道マラソン		優勝
	東京国際女子マラソン		4位
2005年	北海道マラソン		優勝
	シカゴマラソン		3位

申請先 我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課 FAX：04-7185-1760
申請締切 令和元年5月7日（火）正午

JOCオリンピック教室の開催について（我孫子市）

～ 取材申込書 ～

■下記の項目について御記入下さい。

貴社名		
申請責任者／フリガナ		
御連絡先	TEL	
	FAX	
生徒の取材希望	あり	なし
講師の取材希望	あり	なし
駐車場の希望	あり（ 台）	なし
来校者	役割の例 （記者・スチールカメラ・ ムービー・ムービー補佐等）	希望の授業時限
氏名／フリガナ	役割	令和元年 月 日 時限
氏名／フリガナ	役割	令和元年 月 日 時限
氏名／フリガナ	役割	令和元年 月 日 時限

取材上の留意事項

- ・取材可能な時間は以下の通りとなります。

5月8日（水） 5～6時限 午後1時30分から3時20分まで

- ・受付は午後1時00分から体育館入口で行います。
- ・運動の時間は授業に支障のない範囲であれば、自由に取材していただいて構いません。
- ・座学の時間は、生徒及びオリンピアンが授業に集中できる環境を保つため、取材エリアは教室後方出入口付近とさせていただきます。カメラ撮影は授業の妨げとならないように配慮いただき、教室内を移動しての撮影は御遠慮ください。スタッフは取材エリア以外での撮影を行う場合がありますので、あらかじめ御了承願います。
- ・運動・座学ともにフラッシュを使用しての撮影は御遠慮ください。取材希望者が多数の場合は、取材エリアが狭くなってしまうことを御了承ください。
- ・生徒代表への取材は、座学の授業終了後に教室でお願いします。
- ・講師への囲み取材は以下のとおりとします。
5月8日（水）講師 千葉 真子 氏 時間 3時25分頃から10分程度
場所 講師控室（2F 小会議室）
- ・体育館及び関係教室以外には立ち入らないようお願いいたします。
- ・校内に駐車スペースを準備しておりますが、駐車を希望の方は取材申込書へと御記入ください。なお、お手数ですが、台数についても御記入願います。